別紙

船舶に乗り組む医師及び衛生管理者に関する省令第12条第8号の登録講習及び同条第9号に基づき同等以上の能力を有すると認めるための講習に関する基準

船舶に乗り組む医師及び衛生管理者に関する省令（昭和37年運輸省令第43号）（以下「省令」という）第12条第8号の登録講習（以下「登録講習」という）及び同条第9号に基づき同等以上の能力を有すると認めるための講習（以下「同等講習」という）に関する基準を次のように定める。

なお、昭和39年3月以降、改正前の同省令第12条第8号に基づき同等以上の能力を有すると認定してきた商船系大学卒業者（東京海洋大学（平成5年度卒業以降の者）及び神戸大学（平成6年度卒業以降の者）を除く。）、水産系高等学校専攻科卒業者、大島商船高等専門学校卒業者（平成29年度卒業者までに限る。）等については、従前のおり取り扱うこととする。

1. 登録講習

(1) 登録講習の基準

① 講習実施機関

財政的基盤及び執行体制が整っており、衛生管理者の養成が計画的かつ継続的に適正・確実に実施できるものであること。

② 講習の内容等

1) 講習科目、講習時間及び講習内容並びに修了試験

イ 講習科目、講習時間及び講習内容は、別表1又はその水準以上であること。

ロ 講習終了後は、修了試験を実施すること。

2) 講師

省令第18条第1項三号に掲げる条件を満たし、医師、看護師、薬剤師、船員法関係業務経験者、保健所等の専門職員その他講習科目について必要な知識・技能を有する者で衛生管理者の養成に適した者であること。

3) 教科書

教科書は1)に定める講習科目が十分に網羅されており、講習を効果的に実施できるように編纂されたものであること。

4) 受講資格

受講資格が定められていること。

5) 講習人員

同時に講習を受けることができる人数は、20人程度であること。

6) 修了試験の実施体制

修了試験問題作成委員会及び修了試験実施委員会を設け厳正な修了試験が実施できる体制が整っていること。

修了試験の合格基準が定められており、その基準が適正なものであること。

7) 講習料

講習料（実技講習費を含む。）は、適当と認められる額であること。

8) 施設及び設備

5) の人数を同時に受け入れることができる施設及び実技に必要な設備が確保されていること。

9) 運営方法

運営方法は適正かつ確実なものであること。

10) 講習事務規定

省令第21条で準用する第4条の7に基づく講習事務規程に基づき、上記の事項を含む講習の実施に関し必要な事項が定められていること。

(2) 登録講習の申請

省令第17条第1項に基づき登録講習の申請があった場合は、申請書及び同条第3項に定める添付書類の内容を審査し、省令第18条各項に定める件々に適合しているか確認すること。

(3) 登録講習の認定書の交付

国土交通大臣は、上記(1)及び(2)の要件を満たすと認めるときは「船舶に乗り組む衛生管理者登録講習認定書」（様式1）を交付する。

(4) 登録講習の変更の届出

講習の実施者は、省令第21条で準用する第4条の6に基づき、①の事項について変更をしようとするときは、②に掲げる事項を記載した変更届出書を事前に国土交通大臣に提出しなければならない。

① 変更をしようとする事項

- 1) 登録講習実施機関の氏名又は名称及び住所並びに法人にあっては、その代表者の氏名
- 2) 登録講習実施機関が登録講習事務を行う事務所の名称及び所在地
- 3) 登録講習実施機関が登録講習事務を開始する日

② 変更届出書に記載する事項

- 1) 変更しようとする事項
- 2) 変更しようとする日
- 3) 変更の理由

(5) 登録講習の認定の取消

国土交通大臣は、省令第21条で準用する第4条の13に基づき、その認定を取り消すことができる。

(6) 登録講習の報告

登録講習の実施者は、省令第21条で準用する第4条の15に基づき、講習毎に講習修了後30日以内に受講した人数について、また、その事業年度終了後90日以内に年度収支決算及び年間受講人数を国土交通大臣に報告しなければならない。

(7) 登録講習の修了証明書の交付

講習の実施者は、講習の全課程を終了し、かつ、修了試験に合格した者に対しては、修了証明書（様式2）を交付すること。

2. 同等講習

(1) 同等講習の受講対象者

- ① 商船系大学の卒業生（東京海洋大学については平成5年度卒業以降の者、神戸大学については平成6年度卒業以降の者であって、それぞれ別表2-2の講習科目及び内容について対応する講習時間以上を修了した者に限る。）
- ② 商船系高等専門学校の卒業生（平成30年度卒業以降の者であって、別表2-2の講習科目及び内容について対応する講習時間以上を修了した者に限る。）
- ③ 水産系高等学校本科の卒業生（別表2-2の講習科目及び内容について対応する講習時間以上を修了した者に限る。）

- ④ 水産系高等学校本科の卒業生（別表３－２の講習科目及び内容について対応する講習時間以上を修了した者に限る。）

(2) 講習の内容等

① 講習科目、講習時間及び講習内容

1) 上記(1) ①、②及び③の者については、別表２－１の講習科目及び内容について対応する講習時間以上を行うものであること。

2) 上記(1) ④の者については、別表３－１に定める講習科目及び内容について対応する講習時間以上を行うものであること。

3) 1) 又は2) の講習終了後は、修了試験を実施すること。

- ② 上記1. (登録講習)(1) 中①、②2) から10) までは、同等講習の基準について準用する。

(3) 登録講習に関する規定の準用

上記1. (2) (登録講習の申請)、(3) (登録講習の認定書の交付)、(4) (登録講習の変更の届出)、(5) (登録講習の認定の取消)、(6) (登録講習の報告) 及び(7) (登録講習の修了証明書の交付) は、同等講習の開始の申請、同講習の実施について準用する。

この場合、(3) 中「船舶に乗り組む衛生管理者登録講習認定書」(様式1) は「船舶に乗り組む衛生管理者同等講習認定書」(様式3) に読み替えるものとする。

附 則

1. 本改正は、決裁日から適用する。

別表1 登録講習に係る講習科目、講習時間及び講習内容

講習科目	講習時間	講習内容
労働生理	7	人体の構造、組織、筋肉の収縮、神経系、感覚器、血液の生理、血液循環、呼吸、消化及び吸収、排泄、内分泌系、免疫、代謝、体温調節の生理、睡眠、疲労、作業の方法等
船内衛生	10	船員の安全衛生管理、職務上疾病と職業病、船員の災害疾病の特徴、温熱条件・空気条件の管理、水、照明、紫外線、赤外線、電離放射線、騒音・振動、有害物、環境の測定、必要に応じた実技等
食品衛生	7	食品（食品の類別、機能食品等）、食品衛生（飲食による衛生上の危害（食中毒等）、食品衛生対策、食品の保存）等
疾病予防	14	健康管理（健康と体力づくり）、非伝染性疾患の予防（生活習慣病等）、伝染性疾患の予防（性感染症、熱帯伝染病等）、寄生虫（回虫症等）等
保健指導	30	診察方法、応急処置、病状から診断へ、その他の症状、婦人科・妊娠及び出産、救急処置及び蘇生法、創傷の手当、包帯・三角巾湿布等、筋肉の負傷、捻挫と脱臼、骨折、打撲傷、熱傷、異常温度環境における障害、異物、動物による咬刺傷、溺水、死、医療通信、必要に応じた実技等
薬物	8	薬の作用、薬の種類、抗菌薬使用上の重要点、臨床上使用する薬物等
労働衛生法規	4	労働衛生に関する規則、船員法関係法規、検疫関係法規等
救急処置及び看護法に関する実習	20	測定観察、皮下注射、筋肉内注射、導尿、浣腸、骨折、固定、消毒、傷の手当、腹痛、嘔吐、吐血喀血、体位、排泄、介助、意識障害、救急蘇生等
合計	100	

別表 2 - 1 商船系大学等の卒業生（2.（2）①1）関連）を対象とする同等講習に係る講習科目、講習時間及び講習内容

講習科目	講習時間	講習内容
薬 物	8	外用薬、化学療法剤、その他臨床上重要な薬剤等
保健指導	5	診察方法、応急処置、病状からの診断、その他の症状、婦人科・妊娠及び出産、救急処置及び蘇生法、創傷の手当、包帯・三角巾湿布等、筋肉の負傷、捻挫と脱臼、骨折、打撲傷、熱傷、異常温度環境における障害、異物、動物による咬刺傷、溺水、死、医療通信等
救急処置及び看護法に関する実習	30	実技 滅菌、傷の手当、包帯、三角巾、熱傷、凍傷、腰痛、嘔吐、喀血、体位、外傷、骨折・固定、排泄、介助、意識障害の看護、救急蘇生、環境測定、内科的救急処置、臨床一般検査、診断方法、無線医療等
合 計	43	

別表 2 - 2 商船系大学等の卒業生（2. (1)①～③関連）が同等講習を受講するために修了しておくことが必要な講習科目、講習時間及び講習内容

講習科目	講習時間	講習内容
労働生理	7	人体の構造、組織、筋肉の収縮、神経系、感覚器、血液の生理、血液循環、呼吸、消化及び吸収、排泄、内分泌系、免疫、代謝、体温調節の生理、睡眠、疲労、作業の方法等
船内衛生	10	船員の安全衛生管理、職務上疾病と職業病、船員の災害疾病の特徴、温熱条件・空気条件の管理、水、照明、紫外線、赤外線、電離放射線、騒音・振動、有害物、環境の測定、必要に応じた実技等
食品衛生	7	食品（食品の類別、機能食品等）、食品衛生（飲食による衛生上の危害（食中毒等）、食品衛生対策、食品の保存）等
疾病予防	14	健康管理（健康と体力づくり）、非伝染性疾患の予防（生活習慣病等）、伝染性疾患の予防（性感染症、熱帯伝染病等）、寄生虫（回虫症等）等
労働衛生法規	4	労働衛生に関する規則、船員法関係法規、検疫関係法規等
保健指導	15	診察方法、応急処置、病状から診断へ、その他の症状、婦人科・妊娠及び出産、救急処置及び蘇生法、創傷の手当、包帯・三角巾湿布等、筋肉の負傷、捻挫と脱臼、骨折、打撲傷、熱傷、異常温度環境における障害、異物、動物による咬刺傷、溺水、死、医療通信、必要に応じた実技等
合計	57	

別表 3 - 1 水産系高等学校本科の卒業生（2. (2)①2）関連）を対象とする同等講習に係る講習科目、講習時間及び講習内容

講習科目	講習時間	講習内容
薬物	8	外用薬、化学療法剤、その他临床上重要な薬剤等
労働衛生法規	4	労働衛生に関する規則、船員法関係法規、検疫関係法規等
保健指導	13	診察方法、応急処置、病状からの診断、その他の症状、婦人科・妊娠及び出産、救急処置及び蘇生法、創傷の手当、包帯・三角巾湿布等、筋肉の負傷、捻挫と脱臼、骨折、打撲傷、熱傷、異常温度環境における障害、異物、動物による咬刺傷、溺水、死、医療通信等
救急処置及び看護法	30	実技 滅菌、傷の手当、包帯、三角巾、熱傷、凍傷、腰痛、嘔吐、喀血、体位、外傷、骨折・固定、排泄、介助、意識障害の看護、救急蘇生、環境測定、内科的救急処置、臨床一般検査、診断方法、無線医療等
合計	55	

別表 3 - 2 水産系高等学校本科の卒業生（2. (1)④関連）が同等講習を受講するために修了しておくことが必要な講習科目、講習時間及び講習内容

講習科目	講習時間	講習内容
労働生理	7	人体の構造、組織、筋肉の収縮、神経系、感覚器、血液の生理、血液循環、呼吸、消化及び吸収、排泄、内分泌系、免疫、代謝、体温調節の生理、睡眠、疲労、作業の方法等
船内衛生	10	船員の安全衛生管理、職務上疾病と職業病、船員の災害疾病の特徴、温熱条件・空気条件の管理、水、照明、紫外線、赤外線、電離放射線、騒音・振動、有害物、環境の測定、必要に応じた実技等
食品衛生	7	食品（食品の類別、機能食品等）、食品衛生（飲食による衛生上の危害（食中毒等）、食品衛生対策、食品の保存等
疾病予防	14	健康管理（健康と体力づくり）非伝染性疾患の予防（生活習慣病等）、伝染性疾患の予防（性感染症、熱帯伝染病等）、寄生虫（回虫症等）等
保健指導	7	診察方法、応急処置、病状から診断へ、その他の症状、婦人科・妊娠及び出産、救急処置及び蘇生法、創傷の手当、包帯・三角巾湿布等、筋肉の負傷、捻挫と脱臼、骨折、打撲傷、熱傷、異常温度環境における障害、異物、動物による咬刺傷、溺水、死、医療通信、必要に応じた実技等
合計	45	

様式 1

船舶に乗り組む衛生管理者登録講習認定書

第 号
年月日

講習実施者の名称
住 所
代表者の氏名

国土交通大臣 印

(年月日)をもって申請のあった下記講習を、船舶に乗り組む医師及び衛生管理者に関する省令第12条第8号に基づく衛生担当者として必要な知識及び技能に関する講習として登録する。

記

講習名

修 了 証 明 書

修了者氏名
生年月日
本籍地
現住所
船員手帳番号（受有者のみ）

上記の者は、下記のとおり（ 講習実施者の名称 ）が実施した衛生管理者講習の課程を修了したことを証明します。

講習の名称

年 月 日開始
年 月 日終了

年 月 日
講習実施者の名称
住 所
代表者の氏名

印

様式3

船舶に乗る組む衛生管理者講習認定書

第 号
年月日

講習実施者の名称
住 所
代表者の氏名

国土交通大臣 印

(年月日)をもって申請のあった下記講習を、船舶に乗り組む医師及び衛生管理者に関する省令第12条第9号に基づく同等以上の能力を有すると認めるための講習として認定する。

記

講 習 名